



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
インターネットでも
ご覧いただけます。

<http://www.jcp-ktib.com/>

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木やす子
42-2462

市立病院

大半の患者が リハビリ継続

インターネットで他市からも注目

さきの定例市議会で日本共産党市議団は、市立総合病院で大多数のリハビリ患者が「9月いっぱいまでリハビリを打ち切るので、他の施設で受けてほしい」といわれて途方に暮れている声を紹介し、今後とも継続して治療が受けられるよう強く要望しました。

病院側は「法改正によりリハビリは最大180日となったので一律中止と通知してしまつたが、脳卒中や脳疾患などの患者は上限日

街頭から訴え

自民・公明の強行採決に抗議



11月23日、日本共産党市議団は、教基法改定案の強行採決に抗議し、街頭演説をおこないました。非正規雇用の問題、介護保険料・医療費の自己負担増など、国民の暮らしにとって、重大問題が山積みです。「規範意識をいながら、ルールを守らず、弱い物いじめをしているのは誰より自民・公明の政府与党ではないか」と訴えました。

数が除外できることがわかつたので、該当する患者は引き続き受けてほしい」と答弁しました。

この問題で市立総合病院に問い合わせたところ、150人のリハビリ患者の大半が引き続き治療を受けているとのことでした。党市議団のホームページ

有料化はゴミの 減量にはつながらず

廃棄物等減量
推進審議会開催

北茨城市廃棄物等減量推進審議会が11月20日に開催されました。平成12年に策定された市の一般廃棄物処理基本計画を、社会状況の変化や新たな法律等に合わせ見直すことが議題です。計画案で報告されている最近7年間のデータによれば、ゴミは有料化された平成15年から翌16年にかけては大きく減少しています。ところが可燃ゴミについては、わずか1年で増加に転

じています。有料化の効果はすぐに薄れたこと、プラスチック類を可燃ゴミとして収集しているためと分析しています。共産党市議団は、まず有料化ありきではゴミ減量につながらず、また軟プラスチックの可燃ゴミ扱いは分別の後退と指摘してしまいました。これが数年もしないで現実となつていきます。審議員である鈴木やす子議員は、「ゴミ減量のため

で9月議会でのリハビリ継続を求める質問を知つたという山形県寒河江市の議員から問い合わせがありました。「大変な成果ですね。寒河江市立病院では継続してリハビリが受けられたのは1〜2割。北茨城での実績を紹介して寒河江市でもがんばりたい」と話していただきました。

12月定例市議会日程

- 12月7日(木) 開会
- 12月13日(水) 一般質問



水田にも

中郷町松井の水田で白鳥がエサをついばんでいます。観察している方によれば、前号で紹介したのはオオハクチョウで、こちらはコハクチョウとのことです。

のびっこゼミ 子育てトーク

市生涯学習課・のびっこゼミ主催「子育てトーク」が11月11日に開かれました。今回の会場となった磯原保

には、プラスチック類の分別が必要なのは明らか。また、とくに生ゴミの扱いについて具体的な調査・検討をすべきである」と指摘しました。

育園の管理栄養士さんも加わり、

「いまの食べものに添加物がたくさん使われている状態を知つて、成長期の子どもたちに、すべてといわなくても少しでも手作りの物をたべさせてあげてください」と、若い熱意でお話がありました。

ある若いお母さんからは「これまでの子育てトークにも、転居のたびに参加している」とのうれしい言葉。やはり継続は力と、スタッフも励まされました。